令和８年産の水田における作付状況（令和８年10月25日時点）①

令和８年８月千葉豪雨及び令和８年熊本地震の影響を受けた千葉県及び熊本県、今夏の台風の影響を受けた沖縄県（主食用米のみ）について、本年10月13日（火曜日）に公表した９月15日時点の作付状況では暫定値であったため、**今回、当該３県及び全国値のみ更新**を行うもの。
この結果、主食用米の作付面積は９月15日時点から0.1万ha減少したほか、各作物の作付面積は微増又は微減となった。

○　令和８年産の水田における作付状況は、飼料用米や麦、大豆等の作付面積が減少し、**主食用米の作付面積は、近年において最も高い作付水準であった令和７年産**(※)**並み**となった。（※）令和７年産は備蓄米の作付けはゼロ。

○　これに伴い、飼料用米や麦、大豆等は、近年において、極めて少ない作付面積となり、加えて、加工用米、新市場開拓用米及び米粉用米の作付面積も令和７年産から微増にとどまるなど、**非主食用米等の作付水準は低い状況**となっている。

【主食用米、備蓄米及び戦略作物等の作付状況】

（万ha）

年　産	主食用米	酒造好適米	備蓄米	戦略作物等									
				加工用米	新規需要米	新市場開拓用米（輸出用米等）	米粉用米	飼料用米	WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）	麦	大　豆	飼料作物そばなたね	戦略作物等合計面積
Ｈ30年産	138.6	―	2.2	5.1	13.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0
Ｒ元年産	137.9	―	3.3	4.7	12.4	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6
Ｒ２年産	136.6	―	3.7	4.5	12.6	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6
Ｒ３年産	130.3	―	3.6	4.8	17.4	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2
Ｒ４年産	125.1	―	3.6	5.0	20.6	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9
Ｒ５年産	124.2	―	3.5	4.9	20.4	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8	8.5	53.1
Ｒ６年産	125.9	―	3.0	5.0	17.3	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4	7.4	48.3
Ｒ７年産	136.7	―	―	4.4	10.8	0.9	0.4	4.6	4.9	9.5	7.5	6.7	38.8
Ｒ８年産	135.9	1.7	3.6	4.5	8.6	1.1	0.7	2.5	4.3	8.5	6.7	6.3	34.6
対前年差	−0.8	―	―	+0.1	−2.1	+0.2	+0.4	−2.1	−0.6	−1.0	−0.8	−0.4	−4.2
９月15日時点作付状況との差	−0.1	−0.0	+0.1	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	−0.0	−0.0	+0.2	+0.2
畑地化面積	―	―	―	―	―	―	―	―	―	0.1	0.0	0.1	(0.3)0.2

注１：主食用米は、統計部公表の面積。
２：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年２月28日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
３：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
４：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）のＲ６年産以前の実績は、取組計画の認定面積。Ｒ７年産以降は取組計画の届出面積。
なお、新規需要米には、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）を含む。
５：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
６：Ｒ８年産畑地化面積は、８年度に畑地化促進事業で採択された面積。また、戦略作物等合計面積欄の0.3万haについては、麦、大豆、飼料作物、そば、なたねのほか、高収益作物等を加えた面積。
７：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和８年産の水田における作付状況（令和８年10月25日時点）②

【全国・北海道・東北・北陸】

（ha）

都道府県	主食用米 ①	【参考】前年産（7年産）②	【参考】増減 ①－②	酒造好適米	備蓄米	戦略作物等														【参考】8年産畑地化面積
						加工用米	新規需要米	新市場開拓用米（輸出用米等）	米粉用米	飼料用米	WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）	その他	麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	戦略作物等合計	前年産からの増減	
全国計	135.9万	136.7万	▲ 0.8万	1.7万	3.6万	44,982	86,218	10,933	7,378	25,002	42,820	84	84,969	67,228	41,192	20,841	617	346,046	▲ 41,877	3,268
北海道	90,500	90,400	100	504	2,567	9,529	7,043	3,090	220	810	2,923	－	26,996	13,590	5,910	4,172	427	67,666	▲ 4,503	2,609
青森	43,100	43,700	▲ 600	235	4,096	188	2,412	397	95	1,419	502	－	389	3,894	2,351	825	2	10,061	▲ 3,647	98
岩手	48,100	46,900	1,200	199	635	720	3,862	340	37	1,777	1,709	0	2,958	3,488	4,984	474	7	16,492	▲ 2,577	108
宮城	65,600	65,300	300	174	3,061	1,341	4,405	467	92	1,919	1,927	0	1,889	7,790	4,279	362	－	20,066	▲ 3,918	41
秋田	78,500	81,200	▲ 2,700	749	2,707	6,058	2,519	1,135	208	351	825	1	98	6,495	1,601	3,247	－	20,018	▲ 486	37
山形	55,600	57,100	▲ 1,500	561	3,475	4,447	3,518	494	55	1,932	1,035	3	118	3,801	1,958	3,405	1	17,247	▲ 2,172	120
福島	61,900	67,000	▲ 5,100	465	6,632	295	1,640	394	23	562	661	0	353	674	1,485	1,231	83	5,761	▲ 1,703	18
新潟	104,400	108,600	▲ 4,200	1,722	5,224	7,001	3,181	1,176	797	641	566	0	221	2,787	257	664	－	14,111	▲ 1,255	4
富山	33,400	33,700	▲ 300	708	1,525	1,428	2,285	377	338	1,068	502	－	2,367	3,067	280	288	19	9,734	▲ 1,235	1
石川	21,300	22,100	▲ 800	223	1,467	536	315	27	126	63	98	－	867	694	29	157	－	2,599	▲ 524	－
福井	23,900	23,300	600	561	696	616	1,041	300	155	472	113	－	4,183	41	32	493	－	6,407	▲ 1,306	－

注１：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
２：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年２月28日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
３：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
４：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
５：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
６：８年産畑地化面積は、８年度に畑地化促進事業で採択された面積。
７：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和８年産の水田における作付状況（令和８年10月25日時点）③

【関東・東海】

（ha）

都道府県	主食用米 ①	【参考】前年産（7年産）②	【参考】増減 ①−②	酒造好適米	備蓄米	戦略作物等														【参考】8年産畑地化面積
						加工用米	新規需要米	新市場開拓用米（輸出用米等）	米粉用米	飼料用米	WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）	その他	麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	戦略作物等合計	前年産からの増減	
茨城	67,400	66,700	700	72	500	1,092	4,283	1,273	181	2,371	458	−	3,185	606	453	421	−	10,039	▲ 1,845	27
栃木	58,000	58,100	▲ 100	462	1,099	1,243	6,082	136	2,239	2,035	1,672	−	5,690	316	2,602	1,191	6	17,130	▲ 2,512	28
群馬	13,900	14,700	▲ 800	32	633	297	746	16	116	142	472	−	1,261	78	147	20	0	2,549	▲ 249	16
埼玉	29,600	30,600	▲ 1,000	31	123	43	1,846	115	1,034	597	100	−	2,212	281	162	69	6	4,617	528	1
千葉	52,900	53,100	▲ 200	13	637	1,572	2,070	140	96	1,052	782	−	391	143	232	1	−	4,409	▲ 1,107	27
東京	111	112	▲ 1	8	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
神奈川	2,780	2,840	▲ 60	23	−	−	15	7	−	6	2	−	1	3	2	0	−	21	6	−
山梨	4,580	4,560	20	68	−	40	50	−	16	11	23	−	32	83	13	122	−	341	▲ 35	−
長野	30,200	30,000	200	906	217	359	522	196	33	90	204	−	2,017	467	445	1,815	0	5,624	▲ 630	15
岐阜	21,000	20,800	200	174	102	1,080	1,632	66	78	1,206	282	−	3,504	215	533	221	14	7,199	▲ 510	5
静岡	14,700	14,700	0	132	−	111	443	1	12	170	260	−	138	23	40	27	−	782	▲ 108	0
愛知	25,400	25,700	▲ 300	108	229	660	1,462	41	316	978	127	−	5,028	45	152	3	8	7,359	▲ 334	−
三重	26,000	25,700	300	150	86	135	958	93	26	550	288	−	5,977	99	198	11	4	7,381	▲ 1,053	−

注１：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
２：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年２月28日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
３：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
４：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
５：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
６：８年産畑地化面積は、８年度に畑地化促進事業で採択された面積。
７：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和８年産の水田における作付状況（令和８年10月25日時点）④

【近畿・中国】

（ha）

都道府県	主食用米 ①	【参考】前年産（7年産） ②	【参考】増減 ①−②	酒造好適米	備蓄米	戦略作物等 加工用米	新規需要米	新市場開拓用米（輸出用米等）	米粉用米	飼料用米	WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）	その他	麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	戦略作物等合計	前年産からの増減	【参考】8年産畑地化面積
滋賀	30,400	29,300	1,100	196	223	232	836	181	41	339	275	−	6,912	468	174	114	17	8,751	▲ 1,511	0
京都	13,000	13,200	▲ 200	129	−	397	177	2	11	44	120	−	243	193	45	137	−	1,192	▲ 57	6
大阪	4,000	4,100	▲ 100	24	−	0	7	−	1	1	5	−	1	5	0	−	−	13	▲ 2	0
兵庫	34,000	33,600	400	4,829	−	583	1,074	45	59	190	776	3	1,616	1,252	691	87	7	5,310	▲ 551	7
奈良	7,510	7,750	▲ 240	78	−	12	59	−	14	7	38	−	67	29	5	2	0	174	4	2
和歌山	5,610	5,600	10	11	−	−	3	−	1	2	0	−	3	7	2	2	−	16	▲ 8	−
鳥取	12,100	12,000	100	162	76	19	680	23	0	289	368	−	81	409	710	247	−	2,147	▲ 264	6
島根	16,200	16,100	100	199	24	104	937	0	5	324	609	0	196	379	377	245	6	2,246	▲ 320	1
岡山	28,200	28,100	100	1,319	36	90	776	149	41	167	419	−	711	584	758	88	−	3,008	▲ 588	3
広島	20,200	20,200	0	777	11	232	717	40	80	78	518	0	303	138	779	215	−	2,383	▲ 134	2
山口	16,600	16,300	300	557	−	765	840	92	14	342	392	−	778	506	681	27	0	3,596	▲ 462	4

注１：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
　２：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年２月28日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
　３：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
　４：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
　　なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
　５：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
　６：８年産畑地化面積は、８年度に畑地化促進事業で採択された面積。
　７：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和８年産の水田における作付状況（令和８年10月25日時点）⑤

【四国・九州・沖縄】

（ha）

都道府県	主食用米 ①	【参考】前年産（7年産）②	【参考】増減 ①−②	酒造好適米	備蓄米	戦略作物等														【参考】8年産畑地化面積
						加工用米	新規需要米	新市場開拓用米（輸出用米等）	米粉用米	飼料用米	WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）	その他	麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	戦略作物等合計	前年産からの増減	
徳島	10,300	10,300	0	70	62	3	260	27	4	113	116	−	32	1	70	1	−	366	▲ 127	−
香川	10,100	10,100	0	7	−	57	355	29	8	17	301	−	1,070	18	214	8	−	1,722	▲ 42	−
愛媛	12,900	12,700	200	28	−	42	251	−	3	89	159	−	353	204	163	1	−	1,014	▲ 247	−
高知	10,700	10,500	200	97	3	62	584	−	18	264	302	−	2	39	104	0	−	792	▲ 273	6
福岡	35,300	34,500	800	402	7	192	2,640	−	451	408	1,782	−	1,047	6,090	359	40	1	10,368	▲ 1,224	24
佐賀	24,600	23,700	900	125	97	365	1,838	12	33	291	1,502	−	292	5,671	362	9	1	8,539	▲ 845	6
長崎	9,450	9,460	▲ 10	16	−	4	1,302	9	3	44	1,244	2	81	127	1,509	32	0	3,056	▲ 282	6
熊本	33,000	31,900	1,100	50	200	243	7,777	26	121	356	7,233	41	614	1,408	1,518	157	6	11,723	▲ 1,653	28
大分	19,200	18,900	300	23	18	136	2,913	7	155	707	2,044	−	586	675	788	84	1	5,183	▲ 570	5
宮崎	14,100	13,500	600	1	23	1,703	6,661	10	17	508	6,095	30	16	160	2,576	34	0	11,151	▲ 835	3
鹿児島	18,000	17,600	400	1	−	926	3,162	−	7	200	2,954	0	91	184	1,142	91	1	5,597	▲ 700	3
沖縄	599	597	2	−	−	23	42	−	1	2	39	−	−	−	18	−	−	83	▲ 8	−

注１：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。
　２：酒造好適米は、農産物規格規程（平成13年２月28日農林水産省告示第244号）に規定する醸造用玄米のうち、新市場開拓用米に該当するものを除く。
　３：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
　４：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。
　　なお、新規需要米のうちその他は、青刈り稲・わら専用稲（飼料作物として用いられるもの。以下同じ）の面積。
　５：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
　６：８年産畑地化面積は、８年度に畑地化促進事業で採択された面積。
　７：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

（参考）主食用米の作付面積・生産量・需要実績の推移

年　次	作付面積（万ha）	生産量（万トン）	需要実績（万トン）
平成16（2004）	165.8	860.0	865.4
17（2005）	165.2	893.0	851.7
18（2006）	164.3	840.0	837.5
19（2007）	163.7	854.0	854.5
20（2008）	159.6	865.8	823.6
21（2009）	159.2	830.9	814.1
22（2010）	158.0	823.9	820.0
23（2011）	152.6	813.3	813.3
24（2012）	152.4	821.0	781.1
25（2013）	152.2	818.2	786.6
26（2014）	147.4	788.2	782.5

年　次	作付面積（万ha）	生産量（万トン）	需要実績（万トン）
27（2015）	140.6	744.2	766.2
28（2016）	138.1	749.6	754.0
29（2017）	137.0	730.6	739.6
30（2018）	138.6	732.7	734.6
令和元（2019）	137.9	726.1	714.4
2（2020）	136.6	722.6	704.0
3（2021）	130.3	700.7	701.5
4（2022）	125.1	670.1	691.1
5（2023）	124.2	661.0	704.9
6（2024）	125.9	679.2	712.7
7（2025）	136.7	746.8	682.8

注１：平成16年産から平成19年産の作付面積・生産量は生産局資料、平成20年産以降は「作物統計」、需要実績は「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」による。
　２：需要実績は、例えば、平成16年の行には「平成16/17年」の需要実績を記載。
　３：生産量及び需要実績は、ふるい目幅1.70㎜ベースの数値。